

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1247
施設名	阿佐ヶ谷たいよう保育園
施設所在地	並区阿佐ヶ谷南 1-4 8-5 み空ビル 2
法人名	社会福祉法人まあれ愛恵会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
阿佐ヶ谷たいよう保育園はJR阿佐ヶ谷駅前にあるビル型の保育園で、公園などの自然はあるものの、農作業や山川などで遊ぶ機会が限られている。

2. 活動スケジュール

全クラス園児夏野菜の栽培。5歳児については、実際に大きな田んぼで田植え、稲刈り体験を行う。また日常ではバケツ稲づくりを行い、収穫、脱穀、精米などを昔ながらの方法で行い、収穫したお米を調理し、在園児にふるまう。5歳児の子どもたちで話し合い、自然を満喫する日をつくる。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
バケツ、土、モミ、近隣の農家の方に協力していただいた田んぼ、バス等

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

全クラスで夏野菜を栽培する。5歳児については、実際に大きな田んぼで田植え、稲刈り体験を行う。また日常ではバケツ稲づくりを行い、収穫、脱穀、精米などを昔ながらの方法で行い、収穫したお米を調理し、在園児にふるまう。その際、近隣の公園にてダイナミックに泥遊びをしながら土づくりを行う。また、5歳児の子どもたちで話し合い、自然を満喫する日をつくり、山や川遊びを行った。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

最初、バケツ稲の土づくりでは、泥に触れることを怖がっていた子どもたち。田んぼで田植えを始めても少し消極的な様子も見られたが、田植え後の泥遊びでは、全身を使って楽しむ様子が見られた。また稲刈りについても、鎌をしっかりと持ち、稲を刈る子、そろえる子、ひもで器用に結ぶ子などそれぞれ興味がわかれ、興味深かった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちは、体験を重ねるごとに自然に親しみ、自信をもって探索活動を楽しむことができていた。今後も、近隣のリソースを使いながら、工夫した保育を行っていきたい。